

第5章 写真管理基準

5-1 適用範囲

この写真管理基準は、水道課が発注する請負工事（修繕工事を含む。）の工事写真（電子媒体によるものを含む。）の撮影に適用する。

5-2 工事写真の目的

工事写真は、施工管理の手段として、工事の各施工段階における施工状況の記録を残すとともに、工事完成後に明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況等の確認資料となるものである。

また、工事完成検査等の重要な記録資料となるため、工事完成後、特に明視できない出来形部分及び完成検査時に確認困難な箇所については、写真により出来形寸法が容易に確認できるよう十分注意して撮影しておくことが大切である。

5-3 工事写真の撮影

工事写真の撮影基準は、以下の要領で行う。

5-3-1 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は、別紙「撮影箇所一覧表」に示すものとする。

5-3-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を被写体とともに写しこむこと。

- 1 工事名
- 2 工種名
- 3 測点（位置）
- 4 設計寸法
- 5 実測寸法
- 6 略図
- 7 受注者名

なお、小黑板の判読が困難となる場合は、別に近距離撮影による撮影若しくは、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理すること。

特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影すること。

(例)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|----------|-----|-----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|--|
| 工 事 名 | 〇〇地内配水管〇〇工事 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工 種 | 〇〇床掘工 | 測点No. 〇〇 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形状寸法 | <table border="0"> <tr> <td></td> <td>設計値</td> <td>実測値</td> </tr> <tr> <td>A=</td> <td>m (</td> <td>m)</td> </tr> <tr> <td>B=</td> <td>m (</td> <td>m)</td> </tr> <tr> <td>H=</td> <td>m (</td> <td>m)</td> </tr> <tr> <td>h=</td> <td>m (</td> <td>m)</td> </tr> </table> | | 設計値 | 実測値 | A= | m (| m) | B= | m (| m) | H= | m (| m) | h= | m (| m) | |
| | 設計値 | 実測値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| A= | m (| m) | | | | | | | | | | | | | | | |
| B= | m (| m) | | | | | | | | | | | | | | | |
| H= | m (| m) | | | | | | | | | | | | | | | |
| h= | m (| m) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 請負業者名 | (株) 〇〇〇〇 | | | | | | | | | | | | | | | | |

注1 形状寸法は、設計値を記入すること。

注2 「着手前」「完成」の文字は、形状寸法欄に記入すること。

注3 設計変更が生じるおそれがある場合は、設計変更のための資料となるように撮影すること。

注4 撮影箇所は、原則として測点Noで撮影すること。

注5 監督員立会いが必要な箇所は、監督員立会中を撮影すること。

注6 特殊な工事、工種及び多数の同一構造物がある場合は、監督員の指示を受けると。

注7 撮影項目、撮影頻度及び提出頻度については、撮影箇所一覧表に定める基準によること。

5-3-3 撮影の要点

工事写真は、契約図書に基づき、工事が適正に施工されたことを証明するものであり、特に工事完成後の不可視部分についての立証資料となるものであるため、以下の事項に留意して撮影しなければならない。

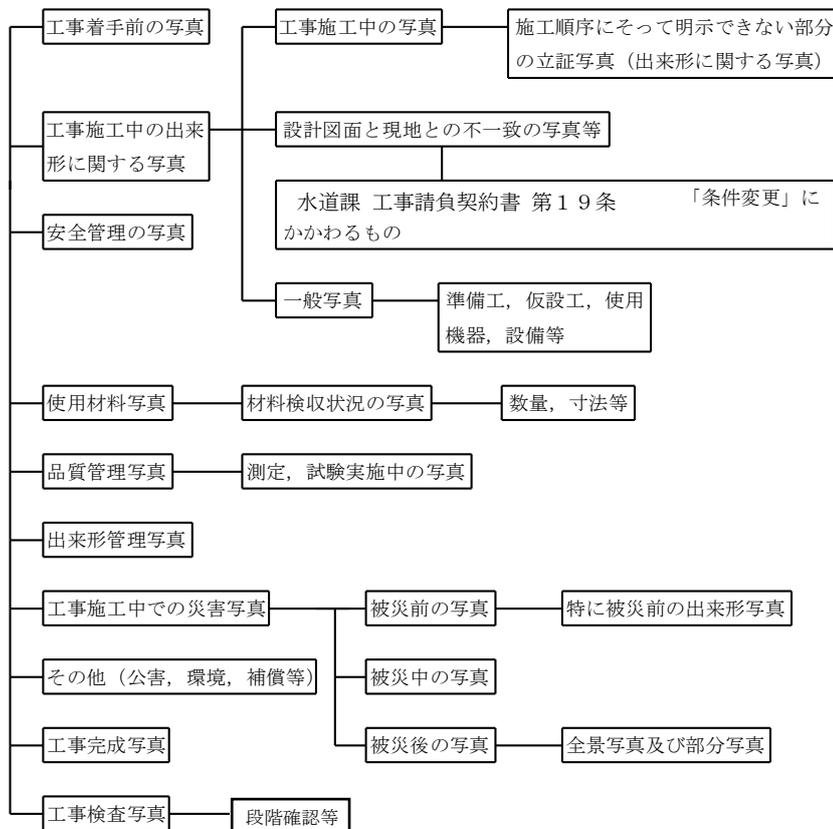
- 1 写真管理担当者を定め、あらかじめ写真撮影計画を作成し、撮影及び管理を行うこと。
- 2 工事内容を十分理解し、写真の目的を十分把握して撮影すること。
- 3 構造物の寸法が明確にわかるように鋼尺、テープ、スタッフ、ポール等をあてて撮影

すること。

- 4 工事写真は、監督員の提出指示があった場合、直ちに提出できるように整理しておくこと。
- 5 工事写真の撮影においては、個人情報に該当するおそれがあるものは工夫し、写らないようにすること。

5-4 工事写真の分類

工事写真は、次のように分類する。



(1) 工事着手前の写真

工事着手前に工事区間全体の状況が判断できる写真を撮影する。

- ア 起終点及び各測点より工区全体を写すものとし、工事箇所（測点等）はマーキングすること。
- イ 同一画面に収まらない場合は、パノラマ写真（つなぎ写真）とすること。
- ウ 人家・立木・屈曲等が多く、全工区一連の写真撮影ができない場合は、分割して関連のわかる写真とすること。
- エ 近接家屋等に影響があると推定される場合は、着手前にひび割れ、傾き等の状況を

詳細に撮影すること。

(2) 工事施工状況写真

ア 工事施工中の写真

工事施工中の写真は、施工方法、出来形、工程、進捗状況等の記録であり、総合的な判定資料となるので現場施工状況が確認できるように設計図書の工種別に撮影すること。

イ 設計図面と現地との不一致の写真等

水道課の工事請負契約書（以下「契約書」という。）第19条「条件変更等」に該当する事実を発見した場合は、監督員に通知し確認を請求するための資料として該当箇所の写真撮影を行うこと。

ウ 一般写真

工事現場における準備工、仮設工、使用機器及び設備等の写真撮影を行うこと。

(3) 安全管理の写真

工事現場の交通及び作業の安全確保するための防護施設、標示施設、交通整理状況、安全施設及び安全訓練等の実施状況を撮影すること。

(4) 使用材料写真

工事に使用する材料のうち、完成後、寸法数量等が確認できなくなるものについては、現場搬入後、監督員立会いのうえ、材料の寸法、規格、マーク等が分かるよう測定器具を使用して撮影すること。なお、追加材料についても同様の扱いとする。

使用材料の主なものとして

ア ダクタイル鋳鉄管・異形管類、仕切弁等

イ ビニル管、鋼管、ビニルライニング鋼管、ポリエチレン管類

ウ 上記以外の管材

エ 薬注、グラウト等材料（入荷、空袋）

オ その他監督員が指示する材料

(5) 品質管理写真

施工管理の一環として実施される試験又は測定の実施状況を撮影すること。

なお、（財）岡山県建設技術センター等公的機関で実施された品質証明書を保管整理できる場合は、撮影を省略することができる。

(6) 出来形管理写真

ア 工事完成後に不可視となる部分は、寸法、形状及び品質が確認できるように撮影すること。

イ 矢板、塗料缶等数量が多い場合は、一連番号をつけ最終番号まで連続して撮影すること。

ウ 写真は、被写体に対して適切な位置で撮影し、併せて被写体の寸法が測定器具により正確に読み取れるように撮影すること。

(7) 工事施工中での災害写真

工事中に災害を受けた場合は、その災害箇所の状況を示す全景写真、並びに被災部分の状況がわかる部分写真を撮影すること。

災害写真は、契約書第30条「不可抗力による損害」を受けた場合の判定資料となるため、正確に撮影すること。

(8) その他（公害、環境、補償等）

ア 公害環境写真

騒音、振動防止及び産業廃棄物搬出等の実施状況を撮影すること。

イ 補償関係写真

家屋及び外溝等の状況写真を着手前に計測撮影すること。

(9) 工事完成写真

完成写真は、着手前写真と対照できるよう同一箇所から撮影すること。

部分完成写真は、工種毎又は構造物毎に撮影すること。

(10) 工事検査写真

段階確認、中間検査、出来形検査及び社内検査の実施状況を撮影すること。

5-5 工事写真の整理方法

工事写真帳の整理については、工種毎に別紙「撮影箇所一覧表」に示すものを標準とし、特別な場合は、監督員の指示によるものとする。

品質管理写真については、監督員の指示により別途製本し管理すること。

また、品質管理・出来形管理写真は、規格値・設計値・実測値等を記入すること。

5-5-1 写真の色彩及び大きさ

写真は、カラーとする。

- 1 写真の大きさは、サービスサイズ程度（縁なしも可）とする。

ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

- (1) 着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真（つなぎ写真可）とすることができる。
- (2) 監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

- 2 工事写真帳は、A4版のフリーアルバム（差込式）又はA4版（電子媒体使用の場合）とする。

5-5-2 提出部数及び形式

- 1 提出部数及び形式は次のとおりとする。

- (1) 工事写真として、工事写真帳を工事完成後に一部提出すること。
- (2) 監督員の指示があった場合は、その指示による。
- (3) 写真原本のネガ等は、撮影内容等が判るように整理し、必要時に提出できるよう3年間は受注者が保管すること。

5-5-3 留意事項

- 1 別紙「撮影箇所一覧表」の適用については、次の事項に留意すること。

- (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容により不適切な場合は、監督員の指示により追加、削除するものとする。
- (2) 撮影箇所がわかりにくい場合及び撮影内容が判読でき場合、写真と同時に見取図・断面図・配管図等、また黒板に記入している内容を工事写真帳に添付又は記入するものとする。
- (3) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については、監督員の指示により類似工種を準用するものとする。

5-6 電子媒体（デジタルカメラ等）による工事写真の管理基準

次に示すデジタルカメラ、プリンタ等電子媒体による写真管理に必要な機器を整備している受注者は、電子媒体使用による工事写真の提出ができる。なお、工事写真の色彩、大

きさ提出部数及び形式，整理方法，留意事項は前項に準じるものとする。

1 使用する機器について

デジタルカメラ，プリンタ等電子媒体の機器は，必要な文字，数値等の内容が判読できる機能，精度を確保できるものを使用すること。

(1) 撮影機器

撮影機器（デジタルカメラ等）は，有効画素が100万画素以上のものを使用すること。また，記録画像ファイル形式はJ P E G形式とし，非圧縮から圧縮率1/8（ノーマルモード）までとする。

【参考】

普及型デジタルカメラは，出力画素数によってV G A（640×480ピクセル），X G A（1,024×1,200ピクセル），S X G A（1,280×1,024ピクセル），U X G A（1,600×1,200ピクセル）の4クラスに大別されるが，有効画素130万画素以上の機能を有するS X G A（1,280×1,024ピクセル）クラスのカメラを使用することを推奨する。

(2) 出力機器

出力機器（プリンタ等）は記録画像印刷に適した機器を使用し，プリンタを使用する場合は，フルカラーで720×360dpi（レーザープリンタの場合は600×600dpi）以上の性能を有する機器とする。

またプリンタで使用するインク及び印刷する用紙は，通常の使用条件のもとで3年間程度，顕著な劣化が生じないものを使用すること。

(3) 保存する電子媒体

保存する電子媒体は，C D - R（IS09660 フォーマット，レベル1），M O（230MB，スーパーフロッピーフォーマット）の使用を原則とする。それ以外の電子媒体（z i p，E Z，j a z，P D，フォトCD，DVD等）の使用は，監督員の承諾を得ること。

5-7 その他

その他疑義が生じた場合は，監督員の指示によるものとする。

5-8 写真整理順序

写真の貼付けは、次の順により整理するものとする。

- 1 着工前
- 2 工事標示板・安全施設標識類・交通誘導員・安全訓練等
- 3 材料検収
- 4 使用機械
- 5 舗装切断工（測点番号順に整理すること。）
- 6 布設工

(1) 測点(起点, 各測点, 終点及び配水管切替箇所等)

測点番号順に次の要領で整理すること。

- ア 舗装版厚さ及び掘削・積込み状況
- イ 掘削状況・完了
- ウ 管布設工
- エ 埋戻工
- オ 路盤工
- カ 仮舗装復旧厚
- キ 路面復旧工（仮復旧）
- ク 路面標示復旧工（仮復旧）

(2) 配管詳細

全配管, 直管, 切管, 異形管使用箇所及び配水管切替箇所等は, 下記の順で各測点間に整理する。

- ア 配管状況等（配水管布設工）
- イ 配水管切替工・排水管取付工等
- ウ 品質管理（管布設工）

作業順序により整理する。

ただし, 管防護を行なった異形管使用箇所の写真は, その都度, 配管状況の写真と比較出来るよう管防護の写真を整理する。

7 弁栓類及び弁室取付工

作業手順にそって整理する。

ただし, 配管詳細の中で整理してもよい。

8 土留工

土留工施工順序により整理する。

ただし、部分的使用や簡易な場合は配管詳細の中で整理してもよい。

9 給水管切替工

給水管切替管理番号順に下記の順で整理する。

- (1) 舗装版厚さ及び掘削・積込み状況
- (2) 掘削状況・完了
- (3) 穿孔状況
- (4) 配管状況
- (5) 既設管接続箇所
- (6) 埋戻工
- (7) 路盤工
- (8) 仮舗装復旧厚
- (9) 路面復旧工（仮復旧）

10 路面復旧工（本復旧）

測点番号順に次の要領で整理すること。

- (1) 着工前
- (2) 舗装切断工
- (3) 仮舗装版掘削・積込み状況，影響部の既設舗装版厚さ及び掘削・積込み状況
- (4) 不陸整正工
- (5) 路盤工（本復旧時施工の場合）
- (6) 乳剤散布工
- (7) 本舗装復旧厚
- (8) 表（基）層工

11 品質管理（管布設工を除く）

12 コア抜き取り工

コア抜き取り箇所の整理番号順で整理する。

13 仮設工

- (1) 水替工（配管詳細の中で整理してもよい。）

(2) 仮設配管工 (5 舗装切断工, 6 布設工, 配管詳細, 9 給水管切替工に準ずる。)

(3) その他仮設工

14 通水試験工

作業手順により整理する。

15 社内確認

社内確認状況

16 完成写真

着工前写真と同一箇所とする。

17 事前調査

家屋調査等。

18 オフセット写真

工事起終点及び屈曲点について、目標物から2方向について距離がわかるように撮影すること。また、平面図に記載し、竣工図として提出すること。

撮影した写真はオフセット写真帳として作成すること。

【表紙】

工 事 写 真 帳

工事番号 平成 年度 第 号

工 事 名

工事箇所 _____ 地内

工 期 着手 平成 年 月 日

完成 平成 年 月 日

発 注 者

請 負 者

【別紙】撮影箇所一覧表

工事写真は、撮影頻度に基づき必ず撮影・プリントし提出すること。

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 |
|-----------------|--------------------------|--|----------------------------------|--------------------|
| 着工前 及び完 成 | 着手前 | 全景（施工箇所全景が確認できるように撮影し、各々の写真に背景を入れポール等により場所を明確にする。） | 着手前 | 工事起点より測点 毎に終点まで |
| | 完成 | 着手前と同じ箇所、同じ方向で撮影すること。 | 完成後 | 工事起点より測点 毎に終点まで |
| 安全管 理写真 | 安全管理 | 交通規制標識、工事標示板等の設置状況（記載事項が確認できること。） | 設置後 変更時 | 設置箇所毎 |
| | | 各種保安施設の設置状況（保安柵・仮歩道等） | 設置後 | 設置箇所毎 |
| | | 交通誘導員（整理状況） | 作業中 | 配置全箇所 |
| | | 安全訓練等の実施状況 | 実施中 | 実施毎 |
| 使用材 料 | 使用材料 | 材料名称、形状、寸法、品質、数量 | 使用前 | 各品目毎1回 |
| | | 検収実施状況 | 検収時 | |
| 品質管 理写真 | 別添、品質管理写真撮影箇所一覧表に記載 | | | |
| 出来形 管理写 真 | 別添、 出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載 | | | |
| 災害 | 被災状況 | 被災状況及び被災規模等 (被災中写真は可能な場合) | 被災直後 被災中 被災後 (その都度) | 適宜 |

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 | |
|---|-------|-------------------------------|---|-----------------------|--------|
| 事故 | 事故報告 | 事故の状況 | 発生直後 発生後 (その都度) | 適宜 | |
| その他 (産業 廃棄物 処理) | 仮置き状況 | 仮置き状況の全景 | 仮置中 | 1 工事に 1 回, 廃 棄物種類毎 | |
| | 運搬 | 運搬状況 (仮置き場～処理場経路) | 施工中 | | |
| | 処分 | 処理場持込状況 | | | |
| その他 | 社内確認 | 当該工事で届出のあった技術者以外の 者による実施状況 | 実施中 | 1 工事に 1 回 | |
| | 残土処理 | 残土仮置き状況 (全景) | 施工中 | 1 工事に 1 回 | |
| | 残管運搬工 | 残管運搬状況 (全景) | 積込時 | 1 工事に 1 回 | |
| | 既設構造物 | 施工前, 復旧後の状況が確認できるこ と | 施工前・後 | 該当箇所全て | |
| | 支障物件 | | 他企業の立会を要するもの 立会い状況 | 立会中 | 該当箇所全て |
| | | | 支障物件処理 施工状況 (支障物件の種類, 位置, 寸 法, 処理等) | 施工前・後 | 該当箇所全て |
| | 補償 | | 被害又は, 損害状況 | 発生時 | 適 宜 |
| 隣接構造物など後で問題の起こる可能 性のあるものは, 状況に応じて関係者 の立会いのうえ写真撮影をすること。 施工前であることが確認できること。 | | | 該当箇所 | 適 宜 | |

品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理の頻度は「第4章 品質管理基準」による。

下表にない項目については、岡山県土木工事施工管理基準による。

| 番号 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 |
|----|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|---------|
| 1 | セメント・コンクリート | スランプ試験 | 試験実施中 (監督員または現場代理人の立会を要する) | 1工事に1回 |
| | | 圧縮強度試験 | | |
| | | 塩化物含有量試験 | | |
| | | 空気量測定 | | |
| | | 骨材粒度試験 | | |
| 2 | 路盤工 | 締め固め密度測定 | 試験実施中 | 全試験箇所 |
| | | プルフローリング測定 | | |
| | | 平板載荷試験 | | |
| | | ふるい分け試験 | | |
| 3 | アスファルト舗装 (県、市承認プラント以外) | 配合試験 | 試験実施中 | 代表箇所各1回 |
| | | 混合物のAs量抽出粒度分析試験 | | |
| | | 温度測定 | | |
| | | ホットビンの骨材の合成粒度試験 | | |
| | アスファルト舗装 (舗設現場) | 温度測定 | 試験実施中 | ルート毎1回 |
| 4 | 配管 | 溶接部の非破壊試験 | 試験実施中 レントゲン | 10口に1回 |
| | | 継手部のチェック状況 | 実施中 | ルート毎1回 |
| | | 水圧試験状況(水圧ゲージの目盛り及び時間が確認できること。) | 実施中 | |

出来形管理写真撮影箇所一覧表

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 |
|----|----------------|--|---|-----------------------------|
| 土工 | 舗装切断工 | 舗装切断状況，清掃状況（背景がわかること。） | 施工中 | ルート毎1回 |
| | 舗装撤去工 | 取壊し・積込み状況（機械・人力）が確認できること。 | 施工中 | 各測点毎 |
| | | 既設舗装版厚さ，幅（As，Co，鉞サイ等） | 施工後 | |
| | 床掘工 | 土質等の判別 | 掘削中 | 土質の変化毎 |
| | | 床掘・積込み状況（機械・人力）が確認できること。 | 施工中 | 各測点毎 （管補強工は3箇所 所に1箇所） |
| | | 床掘断面（幅，深さ） 床掘長は管定尺長以上とすること。 | 施工後 | |
| | 基面整正工 （床均し） | 仕上げ状況・厚さ | 施工中及び仕上げ時 | 各測点毎 （管補強工は3箇所 所に1箇所） |
| | 埋戻し工 | 各層の敷均し方法（埋戻し材），締固め方法（機械・人力）が確認できること。（各層の締固め完了時に埋戻高の測定をすること。） | 保護砂転圧後の管天からの厚さ 各層(20cm)毎に敷均し完了時，5回転圧の内1・3・5回目完了時 | 各測点毎 （管補強工は3箇所 所に1箇所） |
| | | 埋設標識シート設置状況 | 施工後 | |
| | 路床工 | 埋め戻し完了時に路床高の測定をすること。 | 施工後（埋戻し工） | 各測点毎 |

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 |
|--|-------|---|---------------------------------|--|
| | 路盤工 | 下層，上層路盤の敷均し方法，締固め方法（機械・人力）が確認できること。（各層の締固め完了時に路盤高の測定をすること。） | 各層毎に敷均し状況時 締固め完了時 施工前・中・後 | 各測点毎 |
| | 仮舗装工 | 舗装厚，舗設状況 | 施工前・中・後 | 測点毎 （管補強工は3箇所 所に1箇所） |
| 土工 | 水替工 | 水替状況 | 施工中 | 実施箇所毎 |
| | 土留工 | 矢板の形状・寸法 | 施工前 | 実施箇所毎 |
| | | 打込・建込み状況及び撤去後の確認 | 施工中・後 | |
| | 小車小運搬 | 小車運搬状況 | 施工中 | 実施箇所毎 |
| 配水管切替工・排水管取付工・分岐接続工等の土工は上記工種に準じる。 ただし，既設管接続時は各工種の完了時のみでもよい。 | | | | 3箇所に1箇所 |
| 配管工 | 配水管 | 土被り寸法及び埋設位置 | 施工後 | 測点毎 |
| | | 直管・切管部配管状況 | 施工中・後 | ルート毎全箇所 |
| | | E F 継手接合部（ポリエチレン管） ① 切削長さのマーキング ② 融着面の切削（スクレープ）状況 ③ 融着面の清掃，清掃道具の確認 ④ 挿入位置確認のマーキング状況 ⑤ コントローラの準備，ケーブルのセット， 融着データの入力状況 ⑥ 継手への管の挿入・固定・融着準備（融着前の確認） ⑦ 継手No. および通電終了時刻を継手に記入状況 ⑧ クランプ取り外し可能時刻及び接合 | 施工中・後 | ルート毎に1箇所 全工程 配水管切替工は3 箇所に1箇所全工 程（①と②，⑤と ⑥，⑦～⑩はそれ ぞれ1度に撮影可） 10口に1口完了 写真（⑦～⑨が確 認できぬこと。） |

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 |
|----|----|--|------|-----------|
| | | 者氏名を継手に記入状況 ⑨検査（インジケータの確認）状況 ⑩完了 | | |
| | | メカニカル継手部（ポリエチレン管） （インコア挿入状況）接合状況 | 施工中 | 3箇所につき1箇所 |
| | | 異形管部配管状況（ホリエチレンスリーブ被覆前，DIP1種管等のマーキングが確認できること。） | 施工後 | 全箇所 |
| | | 離脱防止金具等設置状況（ホリエチレンスリーブ被覆前） | | |
| | | 既設管分岐箇所施工状況（ホリエチレンスリーブ被覆前） | | |
| | | 溶接鋼管継手部施工状況 | 施工後 | 全箇所 |
| | | 既設管切替箇所施工状況 | 施工後 | 全箇所 |
| | | ポリエチレンスリーブ，浸透防止スリーブ被覆状況 | 施工後 | 測点毎 |
| | | 明示テープ・埋設シート設置状況 | | |
| | | 他の埋設物との離隔状況（交差，近接箇所等） | 施工後 | 該当箇所毎 |
| | | 埋設管閉塞状況 | 施工後 | 全箇所 |
| | | 洗管状況 | 施工中 | 洗管箇所毎 |
| | | 切断刃 | 施工前 | ルート毎1箇所 |
| | | 切断状況 | 施工中 | |
| | | 塗装補修状況（管端） | | |
| | | 管端処理状況 | | |
| | | マーキング | | |
| | | 溝切加工 | | |

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 |
|-----|--------|---------------------------------------|---------------|------------------------|
| | | 挿しロリング | | |
| | | 塗装状況（各層毎） | 施工中・後 | 全箇所 |
| | | 切断器具（ポリエチレン管） | 施工前 | ルート毎1箇所 |
| | | 切断状況（ポリエチレン管） | 施工中 | 5箇所に1箇所 |
| | 管塗装 | 塗装状況（各層毎） | 施工中・後 | 全箇所 |
| 配管工 | 防食テープ巻 | 防食テープ巻状況 | 施工中・後 | 全箇所 |
| | 管防護 | C o 打設状況及び型枠 | 施工中・後 | 全箇所 |
| | | C o 出来形寸法 | | |
| | 給水管 | 土工（工種・種別「土工」に準じる。） | | 5箇所に1箇所 （5箇所以下は1箇所） |
| | | せん孔ドリル刃（内面粉体塗装管用） | せん孔前 | 5箇所に1箇所 |
| | | サドル分水栓穿孔状況（密着コア取付含む。） | せん孔前 施工中 | 5箇所に1箇所 （5箇所以下は1箇所） |
| | | サドル分水栓取付状況 | 施工後 | 全箇所 |
| | | 配管状況 | | |
| | | 既設管接続状況（埋設管閉塞状況） | | |
| | 弁栓類 | 仕切弁，消火栓，空気弁設置状況（配管，土被り等） | 施工後 | 設置箇所全て |
| | | 弁栓室据付状況（ブロック設置状況） | | |
| | | ハイジャスターの施工状況（無収縮モルタル外側部の仕上がり確認できること。） | 施工中・後 | 設置箇所全て |
| | | 埋戻し状況 | 土工（埋戻し工に準じる。） | 弁栓種別単位の3箇所毎 |
| | 水管橋 | 仮組立状況（全景） | 製作後 | 1工事1回 |

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 | |
|-----|--------|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----|
| 配管工 | | 橋台，橋脚基礎のC o 打設状況及び型 枠，C o の出来形寸法 | 施工中・後 | | |
| | | 架設状況 | 施工中・後 | 1 工事 1 回 | |
| | | 配管状況 | 実施中 | 1 スパンに 1 回 | |
| | | 溶接状況 | | | |
| | 水管橋 | 現場における塗装状況 | 施工中 | 1 スパンに 1 回 | |
| | 不断水分岐工 | | 水圧試験（水圧ゲージの目盛り及び時 間が確認できること。） | せん孔前 | 全箇所 |
| | | | せん孔機設置状況 | せん孔前 | |
| | | | せん孔状況 | せん孔中 | |
| | | | せん孔完了状況（せん孔片が確認でき ること。） | せん孔後 | |
| | 管補強工 | 補強状況 | 施工前・中・後 | 3 個所に 1 箇所 (土工を含む) | |
| 推進工 | 立杭工 | 土工に準じる。 | | | |
| | 推進 | 機械据付状況（全景） | 据付後 | 機種毎 | |
| | | 推進状況 | 施工中 | 3 0 m に 1 箇所 3 0 m 未満は 2 箇 所 | |
| | グラウト | 注入確認状況 | 施工中 | 3 0 m に 1 箇所 3 0 m 未満は 2 箇 所 | |
| | 配管 | 配管状況 | 施工後 | 5 0 m に 1 箇所 | |
| | | 継手部のチェック状況 | 実施中 | 路線毎 1 回 | |

| 区分 | 工種 | 撮影項目 | 撮影時期 | 撮影頻度 | |
|-------|-----------|---|-----------------|--------------------------|-------|
| 地盤改良工 | 薬液注入工 | 材料使用量 | 使用前・後 | 材料毎1回 | |
| | | プラント設備設置状況 | 施工後 | 設備毎1回 | |
| | | ロット検尺 | | 5孔に1孔 | |
| | | 削孔 | 施工中 | 5孔に1孔、薬液注入については監督員の指示による | |
| | | 注入 | | | |
| | | 残尺 | | | |
| 地盤改良工 | 薬液注入工 | 完了孔確認 | 施工後 | 5孔に1孔 | |
| | | ゲルタイム | 施工前 | 適宜 | |
| | | 比重測定 | | | |
| 路面復旧工 | 路盤工 | 仮舗装すき取り状況 | 施工中 | 測点毎 | |
| | | 整正・転圧状況，厚さ，幅が確認できること。 | 施工中・後 | | |
| | 表(基)層工 | 乳剤散布状況 | 散布時・後 | | |
| | | 厚さ，幅が確認できること。 | 施工前 | | |
| | | 舗設状況（敷き均し・転圧の状況，機種が確認できること。） | 施工中・後 | | |
| | コンクリート舗装工 | コンクリート打設状況 | 施工前 | | |
| | | 養生状況 | 施工中 | | |
| | コア採取 | 100～200㎡未満は2箇所，200㎡以上は3箇所を標準とし路線数等現場に応じて増減する。 | 採取後（削孔後） 穴埋後 | | 採取箇所毎 |
| | 区画線・路面標示工 | 復旧の状況 | 施工中・後 | | 代表箇所 |
| | 附帯設備工 | 撤去・復旧の状況 | 施工前・後 | | 全箇所 |

備考1 「代表箇所」とは，当該工事の代表箇所を示し，監督員の指示する箇所をいう。

備考2 「適宜」とは，監督員の指示による箇所をいう。